

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-005

PDCA	事務事業名	第6次総合計画評価事業	部課等名	企画部 企画課 企画担当	担当	杉浦 諒	
					内線等	226	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち 節： 第1節 行財政運営とサービスの向上 基本施策： 1. 行政運営 単位施策： 個別施策：					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	第6次半田市総合計画に掲げた理念や将来都市像、まちづくりの目標を実現するため、毎年度評価を実施することにより、計画の着実かつ効率的な推進を確保し、適切な市政運営を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	基本施策ごとに、成果、事業の進捗状況について、所管課による庁内評価を実施するとともに、有識者や市民等で構成する総合計画市民評価委員会により、市民目線による評価を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①総合計画市民評価委員会開催回数（評価分）	13	14	14	回	
		②庁内評価の実施	1	1	1	回	
		③市民アンケートの実施	—	1	—	回	
		事業費	218	289	310	千円	
		人件費	2,221	3,123	4,968	千円	
		総事業費	2,439	3,412	5,278	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	①					
		②					
		③					
		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		市民の視点に立った効率的で質の高い行政の実現に向け、庁内評価や市民等による評価を実施し、施策への反映及び事業展開することで、総合計画の適切な進行管理を図る。	実績値				
		目標値					
		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	
		B					
		次期総合計画の策定を踏まえ全45施策の総括評価を実施し、第6次総合計画のこれまでの成果、今後の課題などを整理した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		各施策が目指す将来の姿の実現に向けて、引き続き、庁内評価と外部評価を実施し、評価結果を事業につなげることで、総合計画で定めた基本成果指標における目標の達成を目指す。また、次期総合計画での評価体制については、市民評価委員会の意見を踏まえ、本事業の評価を参考に検討する。					
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位
		市民の視点に立った効率的で質の高い行政の実現に向け、庁内評価や市民等による評価を実施し、施策への反映及び事業展開することで、総合計画の適切な進行管理を図る。					